

**2024年6月1日改訂(第7版)

*2021年10月13日改訂(第6版)

認証番号 219AKBZX00152000

機械器具81 磁気治療器
管理医療機器 家庭用永久磁石磁気治療器 71016000

磁気絆X

再使用禁止

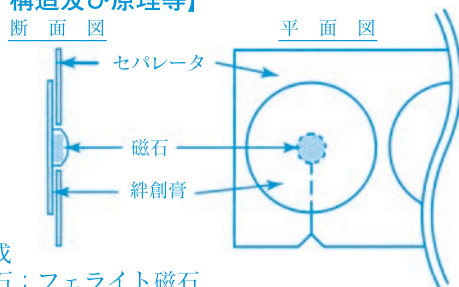
【禁忌・禁止】

ペースメーカなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を装着している方又は脳脊髄液短絡術用圧可変式シャントなどの磁気影響を受ける可能性のある医用電気機器を使用している方は、誤作動を招くおそれがありますので使用しないでください。

【形状・構造及び原理等】

断面図

平面図



**・組成

磁石：フェライト磁石

絆創膏：ポリ塩化ビニル樹脂フィルム／
アクリル系粘着剤

セパレータ：紙

・構造

磁石、絆創膏、セパレータで構成される。

・原理

磁石に生じる磁力線により、貼付部位の血行を改善し、こりをほぐす。

・最大磁束密度：200mT

【使用目的又は効果】

永久磁石の磁力による貼付部位のこり、血行の改善。
一般家庭で使用する。

【使用方法等】

首すじ、肩、腰などこりのある場所の汗や汚れを拭き取り清潔にして、磁石が装着されている絆創膏をセパレータからはがし、1～数粒貼付してください。この商品は貼ったまま入浴が出来ます。なお、貼付部位は裏面の貼付点参考図を参考にしてください。



・セパレータからのとりはずし方
図のように、セパレータ切り口よりお取りください。

使用後は、すぐに捨ててください。

誤飲を防ぐために

小児及び監督を必要とする方が手にとると、誤って磁石を絆創膏からはずして飲み込む恐れがあります。

【使用上の注意】

(1) 次の方は使用前に医師に相談してください。

- ①悪性腫瘍のある方。
- ②心臓に障害のある方。
- ③妊娠初期の不安定期又は出産直後の方。
- ④糖尿病などによる高度な末しょう循環障害による知覚障害のある方。
- ⑤皮膚に感染症又は創傷のある方。
- ⑥安静を必要とする方。
- ⑦体温が38℃以上(有熱期)の方。

例1：急性炎症症状(倦怠感、悪寒、血圧変動などの強い時期)

例2：衰弱しているとき

⑧捻挫、肉離れなどの急性疾患の方。

- (2) 他の治療器との併用は避けてください。
- (3) 使用しても効果があらわれない場合には、医師又は専門家に相談してください。
- ** (4) 使用に際しては、次の事に注意してください。
- ① 傷や湿疹、かぶれ等のある場所には使用しないでください。
 - ② 磁気共鳴画像診断装置 (MRI) の検査を受ける人は、検査の前に使用を中止してください。
 - ③ 2～3日毎に貼りかえてください。
 - ④ 乳幼児には使用しないでください。
 - ⑤ 皮膚の弱い方は、同じ所には続けて使用しないでください。
 - ⑥ 時計、磁気カードなどの磁気の影響を受けるものに近づけないでください。
 - ⑦ 使用前に磁石部分に金属などの異物が付着していないことを確認してください。
 - ⑧ 頭部に使用しないでください。
- (5) 使用中又は使用後は、次の事に注意してください。
- ① 使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに使用を中止してください。
 - ② 本品の使用により、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状があらわれた場合には、使用を中止し医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - ③ 万一磁石を飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
 - ④ 本品は改造して使用しないでください。
 - ⑤ 廃棄する際にはお住まいの市町村・自治体の区分に従ってください。

****【保管方法及び有効期間等】**

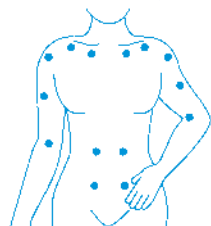
- ・ 小児及び監督を必要とする方の手の届かない所に保管してください。
- ・ 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- ・ 使用期限 (外装に記載) を過ぎた製品は使用しないでください。

磁気治療器

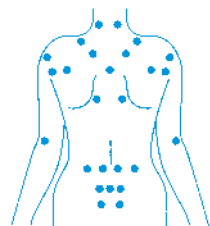
貼付点参考図

図を参考にして、
指で軽く押して痛みを感じる所に
1～数粒貼付してください。

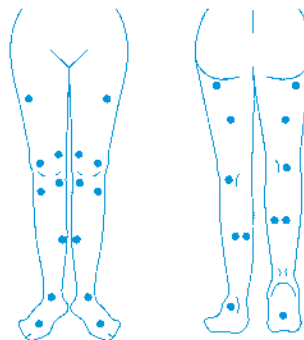
腕・胸・腹の貼付点参考図



肩・背中・腰の貼付点参考図



足の貼付点参考図



【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者



阿蘇製薬株式会社

〒869-1101 熊本県菊池郡菊陽町津久礼91-1

*お客様相談窓口 03-5422-3365

9:00～17:00まで(土・日・祝日を除く)